

# 三陸津波伝承施設～田老防潮堤～

岩手県・宮古市



「津波太郎」とまで、ありがたくない異名をもっている宮古市田老町（旧田老町）は、その名のごとくこれまでに数十回の津波被害を受けている。そのなかで慶長16年（1611年）、明治29年、昭和8年の三陸大津波により全町壊滅という大被害を受け、悲惨な経験をした町民と行政が、永久に安住できる田老とするため、津波防災に係わる施設として津波防潮堤を、昭和9年度から整備に着手、昭和53年には総延長2,433m、T.P. + 10.0mの、いわゆる"田老万里の長城"と呼ばれる施設が完成し、以来、背後住民の暮らしを守る上で重要な役割を果たしている。

宮古市田老町（旧田老町）は、津波と対決し、津波から町を守る防潮堤を整備することを考え、防潮堤を基盤とする防災田老が生まれた訳であるが、これらの施設に満足することなく、常に津波に対する心構えを持つことは言うまでもないことである。

## TOPICS

- ・ 鮭、あわび祭り 11月下旬頃 開催
- ・ 特産品：鮭、あわび、ワカメなど

## お問い合わせ先

岩手県 農林水産部 漁港漁村課

TEL / 019-629-5828

URL / <http://www.pref.iwate.jp/>

### 【交通】

徒歩 / 三陸鉄道 田老駅から約10分

